

令和 5年度 事務事業評価表 (個票)

課名 健康推進部保険年金課

作成日 令和 6年 8月 1日

概要	施策名	保険年金・生活自立支援	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	社会保障制度の健全で適正な運用により、誰もが生涯にわたり安心して自立した生活を送ることができる環境を整えること。		
施策の方向		後期高齢者医療制度の適正な運用		
令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	人間ドック、健康診査事業においては、新型コロナウイルス感染症以前の状況に戻りつつあり、前年度実績を上回り概ね計画通りと考える。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業については、庁内での連携強化も進み、活動母体である健康づくり課での介入人数は、前年度に比べ増加している。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	後期高齢者医療制度の適正な運用については、成果に即効性はなく、継続して事業を進める事で目標が達成されていくものと考えている。両事業とも今後においても、事業への参加を促すための工夫をして、成果が得られるよう継続して進めていく。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト (事業費: 千円)			
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算
1	後期高齢者医療健康診査等事業	健康診査受診者数	人	6,809	7,160	7,150	8,000	9,685	10,576	120,498	138,213
	①	②	人間ドック受診者数	人	153	170	165				
	③ 令和 7年度の優先度 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D										
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	実績値においては、令和4年度に比べ令和5年度は伸び、ほぼ計画値に近い値となった。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、令和4年度以前のような受診控えもあまり見られなかったため、コロナ以前の状態に戻りつつあると考えられる。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 今後も引き続き、未受診者に対してのアプローチを考慮して事業を継続していく。						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト (事業費: 千円)			
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算
2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康教育・実施回数 (65歳以上)	回	48	55	62	60	1,323	2,334	1,492	2,437
	①	②	健康教育・参加者数 (65歳以上)	人	1203	1,378	1,224				
	③ 令和 7年度の優先度 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D										
	令和 5年度 の評価	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	健康教育 (ポピュレーションアプローチ) は、令和4年度開催していなかった通いの場でも開催することができ、計画回数を超えて実施できた。参加者数は計画には届かなかったものの令和4年度に比べて増加しており、総じてコロナ禍からの回復を進めることができた。訪問事業 (ハイリスクアプローチ) は、計画に僅かに届かない件数であったが、介入人数は増加した (R4: 244人、R5: 252人)。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 新型コロナウイルスの5類移行や、被保険者数の増加により、通いの場の参加者は今後も増えていくと思われる。コロナ禍で開催しなくなった場、これまで開催したことがない場への働きかけを要する。訪問事業はアプローチやフォローの方法について検討しつつ、いずれも実施機関の健康づくり課とともに今後も継続していく。庁内連携として令和5年度新たに担当課長会議を行った。令和6年度も引き続き連携強化を図っていく。						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。